

私の留学体験記

広島県立福山誠之館高等学校 2年 石川 友菜 (いしかわ ゆな)
留学期間 令和5年12月9日(土) ~ 12月23日(土) (15日間)
留学先 ①Oslo Handelsgymnasium 高校 ②Amalie Skram 高校
(ベルゲン・オスロ、ノルウェー)

私は、令和5年12月9日から12月23日の15日間、ノルウェー短期留学に参加しました。そこでの経験から、多くのことを学び、身に付けることができました。

初めに驚いたのは、クリスマスの文化です。ノルウェーでは各家庭、本物の木でクリスマスツリーを飾ります。毎年クリスマスツリーを買い換えるのです。私もホストマザーと一緒にツリーを買いに行きました。ツリーには種類によっていろんな匂いがあるらしく、ホストマザーのおすすめのツリーを買いました。

また、ノルウェーのクリスマスでは、ジンジャーブレッドというお菓子の家を作ります。それがたくさん展示されている博物館に行きました。ライトアップやおもちゃの車を走らせていたりして、まるで本物の街のようでした。

次に驚いたのは学校のことです。ノルウェーの高校は、授業中自由に食べたり飲んだりできます。また話し合いの場が日本に比べてとても多いです。自分たちで話し合っ取り組むことで力が付くのだと現地の先生が教えてくれました。先生の話聞いて板書するという日本の授業とはまるで違います。日本も最近、ペア学習を増やしていますが、全然足りないと感じました。

また現地の人と実際に話して、英語での様々な言い回し、学校で習った意味と実際の意味の少しのズレなどを感じました。“OK.”と言うのはイマイチという意味ということや、“I want to ~.”とは言わず、“I wanna ~.”と省略することを学びました。日本の英語は文章を重要視しています。ですが実際英語を話すときに文章を考えているのは会話のテンポが遅すぎてしまいます。語順がバラバラでも単語があっていれば意味は通じます。日本の授業でたくさん単語を覚えたことで自分の言いたいことを少しだけ伝えることができました。しかし、ふと思いついたことを話すのは難しかったです。英語の授業で積極的に英語を使う練習をしたいです。

また今回の留学で自分にはリスニング能力が全然ないことに気が付きました。相手の言っていることを一回で聞き取ることは非常に難しく、何回も聞き返してしまうことがありました。みんな優しくもう一度言ってくれましたがもっとスムーズに会話したいと思いました。

この留学で英語に対する私の中の気持ちが大きく変わりました。参加する私の目標は大学入試に使える英語を身に付けることでした。しかし、ホームステイを通して、実際に英語しか使えないとなった時、とても困りました。自分の言いたいことを相手に正確に伝えられないというのはとても辛いです。今の目標は、将来英語で日常会話ができるようになることです。

また、ノルウェーの人たちも第一言語はノルウェー語で英語は第二言語という日本人の私と同じ立場なのに、英語能力が全然違うのは情けなかったです。ノルウェーの人たちは英語をほぼ完璧に話せます。なぜなのか尋ねたら、小学生の時から英語の授業があったり、英語の教育テレビを小学生は毎日見たりしていると教わりました。ノルウェーは小さな国だから周りの国の人たちと交流するために英語を習得しないといけないとも教わりました。

この留学では、現地の人暮らしを実際に体験したり、現地の学生と友達になったりと普通の海外旅行では体験できないことができました。今回の短期留学に携わってくださった多くの方々に感謝します。もっと英語を勉強して使えるようになったらもう一度留学したいです。そして他国の人や文化との交流を今回の留学よりももっと深くしたいです。